

令和元年7月5日

令和元年度 大阪府立三島高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 実施日 令和元年7月4日(木) 15:00～16:45

2 出席者

(1) 協議会委員 (アイウエオ順)

池下 眞 (高槻市立郡家小学校長)

甲斐 淳志郎 (高槻市立第二中学校長)

柏原 泰和 (川西地区青少年健全育成協議会長)

林 武文 (関西大学教授)

山本 富美恵 (三島高等学校 PTA 会長)

(2) 井上 隆司 校長

(3) 事務局

山崎 一郎 教頭、尾崎 聡 首席・教務部長、前田 隆志 首席・総務部長、

古謝 伸二 事務長

3 議題

(1) 平成30年度の学校経営計画の評価について

(2) 令和元年度の学校経営計画について

(3) 経営指標について

(4) 令和2年度使用教科書選定について

4 委員からの指摘提言

(1) 平成30年度の学校経営計画の評価について

・遅刻者数が、校時が5分早くなったため倍近くなっている。遅刻指導や頭髪・服装指導は働き方改革の観点から教員の仕事から外せばよいのだが、崩れると学びから遠のくので外せないのが実態である。遅刻を気にするあまり、交通安全がおろそかにならないようにしてもらいたい。

・数値化された評価に対し、○や△をつけることによって外部評価がそのことばかりに目がいってしまうことが気になりである。

(2) 平成31年度の学校経営について

・国公立大学への合格者数の数値目標が高いことが気になりであるが、数年の推移をみていると納得できる。

・高校生活で支えられたり、支えたりという経験を通して豊かな人間力を形成してい

くことは、社会で役割を担う上で大切である。

- ・素直で従順であるが、自主的・主体的に行動したり考えたりすることができない生徒が多くなっている。大学でもラーニング・コモンズという自発的に学習できるスペースを設置するなどルールを敷いている。

(3) 経営指標について

- ・保護者に勧められるままに進学してきている生徒が少なくない。三島高校に進学して何がしたいという明確な目標がない生徒が多いのが気になる。
- ・卒業時にこのような能力が身に着けられたということを三島ブランド力として示せればよい。
- ・在籍者数における男子生徒の比率が増えてから挨拶をする者が減るなど、マナーが少し悪くなった気がする。
- ・学力の伸びる時期は人によって異なる。学力だけに限らず伸びるところを伸ばしてもらいたい。

(4) 令和2年度使用教科書選定について

- ・教科書見本を提示し、選定理由の説明を行うが特に意見はない。